

## プロフェッショナル部門

1996 年～2014 年に出生した者

- 課題曲選択にあたり、別紙の【課題曲に関する重要注意事項】を必ず読むこと。
- 各大会の申込時、課題曲を登録する際に課題曲コード（アルファベット 1 文字+数字 3 ケタ）が必要です。課題曲コードは別紙「ショパンの作品一覧」にてご確認ください。

	課題曲 A	課題曲 B
1 次審査 A→B の順で演奏	<p>ショパン： 下記の練習曲 5 曲より任意の 1 曲</p> <p>Op.10-1、Op.10-2 Op.25-6、Op.25-10、Op.25-11</p>	<p>ショパン：下記の 11 曲より任意の 2 曲</p> <p>*ただし (1) と (2) より 1 曲ずつ選択すること *それぞれの演奏順は問わない（ただし、申込時に演奏する順で登録すること）</p> <p>(1) バラード・スケルツォ Op.23、Op.38、Op.47、Op.52 Op.20、Op.31、Op.39、Op.54</p> <p>(2) 幻想曲 Op.49、舟歌 Op.60、 幻想ポロネーズ Op.61</p>
2 次審査 A→B の順で演奏	<p>ショパン：下記のマズルカより 任意の 1 作品 (Op.) 全曲</p> <p>Op.17、Op.24、Op.30、Op.33 Op.41、Op.50、Op.56、Op.59</p> <p>*各マズルカは、作品番号 (Op.) 内の曲順通りに演奏すること。ただし Op.33 と Op.41 に関しては以下の順番で演奏すること。</p> <p>&lt;Op.33&gt; 嬰ト短調 → 八長調 → 二長調 → 口短調</p> <p>&lt;Op.41&gt; ホ短調 → 口長調 → 変イ長調 → 嬰ハ短調</p>	<p>ショパン：下記のソナタより任意の 1 曲（全楽章）</p> <p>Op.35、Op.58</p> <p>*両ソナタとも、第 1 楽章の提示部は繰り返しをしてはいけない</p>
最終審査	<p>ショパン：下記のコンチェルト 2 曲より任意の 1 曲（弦楽四重奏伴奏を予定）</p> <p>ピアノ協奏曲第 1 番 Op.11 全楽章 *第 1 楽章・第 2 楽章では、伴奏は必ず指定のカットを行うこと（課題曲に関する注意事項を参照）</p> <p>ピアノ協奏曲第 2 番 Op.21 全楽章 *第 1 楽章では、伴奏は必ず指定のカットを行うこと（課題曲に関する注意事項を参照）</p>	